共通価値の創造

『Annual Review 2022』抜粋

Golden Morn
ナイジェリアのシリアルブランド*Golden Morn*は全粒粉を50%以上配合し、ビタミンAや鉄分などの必須栄養素を強化しています。主に現地産の原材料を使用する、ナイジェリアで生まれたナイジェリア人のためのシリアルです。

640万トン
BAU(追加的な対応策を講じない現状維持)シナリオと比較した温室効果ガス削減量(CO_2換算)

99.1%
定められたサプライチェーンにおいて森林破壊ゼロと評価された割合

10.5%
パッケージに使用するバージン(未使用)プラスチックの削減割合、2018年比

30.2%
上位200人の上級管理職に占める女性の割合

オーストラリアのオーツミルクシリーズ*Uncle Tobys Oat Milk*はオーストラリア産オーツ麦を100%使用し、ヘルス スター レーティング*で4点(最高5点)の評価を受けています。

＊訳注:オーストラリアやニュージーランドで消費者が食品を選ぶ際に役立つように採用されている栄養プロファイリング

ネスレの存在意義は、「食の持つ力で、現在そしてこれからの世代のすべての人々の生活の質を高めていきます」です。ネスレはこの存在意義に動機付けられて、現在そしてこれからの人々やペット、そして地球環境に対して、プラスの影響を与えるべく取り組んでいます。私たちは、世界を養うことができる環境再生型の食料システムへの公正な移行の支援というコミットメントを掲げています。

重要課題を理解する

移り変わる傾向やステークホルダーの優先課題を反映するため、私たちは定期的に重要課題評価を実施し、ネスレが社会や環境に特に最も影響を与える分野と、自社の事業の成功にとって最も重要となる影響を特定しています。2022年は、独立第三者機関と協力して、55の社内外のステークホルダーにインタビューを行い、評価を実施しました。

その回答をもとに、前回の評価から大きく変化した点をはじめ、ネスレの事業とステークホルダーにとって重要な課題を特定しました。ここでは、その上位にランクされた課題として、製品の品質と安全性、健康と栄養、温室効果ガス排出量、製品パッケージのライフサイクル管理、水管理、生態系への影響、原材料サプライチェーンにおける環境と社会への影響を取り上げます。これらの課題やその他すべての重要課題、また評価結果については、ネスレの報告書『Creating Shared Value and Sustainability Report』に詳しく掲載しています。

2022年に受けた主な評価・認定

MSCI ESG RATINGS AA
CCC B BB BBB A AA AAA
FTSE4Good
WORLD'S BEST WORKPLACES Great Place To Work. 2022
CDP DRIVING SUSTAINABLE ECONOMIES
Bloomberg Gender-Equality Index 2022
Certified B Corporation

＊ネスレの純売上高の約10%を占めるブランドがBコープ認証を受けています。

栄養とラベル表示の改善

ネスレは、おいしくて栄養価が高く、持続可能で、ライフステージを問わず、誰もが手軽に入手できる手頃な価格の食品を提供することを目指しています。ネスレの幅広い製品ポートフォリオは、飲料やミールソリューションから菓子、栄養補助食品にまでおよびます。私たちは味に妥協することなく、糖類、ナトリウム、飽和脂肪を減らしながら、全粒粉、タンパク質、食物繊維を増やすことで、製品の栄養バランスを改善しています。2022年は、ネスレ製品の健康性とおいしさをさらに改善するため、システムと方針を改訂しました。

製品に関して透明性のある情報を提供することは、人々の信頼を維持する上で何よりも重要です。ネスレは2022年に世界的なポートフォリオ全体について、ヘルス スター レーティング(HSR)に照らしたベンチマークを初めて実施しました。HSRは、オランダの非政府組織Access to Nutrition Initiative(ATNI)が使用、一部の国ではパッケージ前面でラベル表示されている栄養プロファイリングシステムです。HSRシステムの対象ではない乳児用食品やメディカルニュートリションなどの専門栄養製品についても、ネスレは別途報告を行っています。ネスレは、企業として世界で初めて、製品ポートフォリオ全体(時折口にするおやつから日常的に摂取する栄養価の高い食品飲料、専門栄養製品に至るまで)の栄養価を開示しました。

さらに、ネスレ製品の栄養成分について透明性のある情報を伝えるために、関連する現地のパッケージ前面栄養表示制度、例えばNutri-Scoreなどを表示するよう継続していきます。ネスレの報告書『Creating Shared Value and Sustainability Report』では、各国政府が認証するパッケージ前面栄養表示制度を使用して、13カ国の現地の製品ポートフォリオの栄養価を開示しています。この透明性は、プラントベース（植物由来）製品、子ども向け製品、ヘルシーエイジング製品をはじめとする製品ポートフォリオの栄養セグメントを成長、拡大させるネスレの取り組みの一環です。

ネスレ製品ポートフォリオの栄養価 *

	「ペットケア」を除く（純売上高の79% *）	「ペットケア」を含む（純売上高の97% *）
HSR評価を受けた製品の純売上高：		
HSR 1.5点未満	21%	17%
HSR 1.5点から3.5点未満	22%	18%
HSR 3.5点以上	37%	30%
HSR対象外の専門栄養製品の純売上高：		
専門栄養食品	20%	35%

*非食品・非飲料消費財は除く。一部直近の買収を除く。

暮らしに欠かせない、手頃な価格の食品の入手

世界が直面する社会的、経済的不安定性やサプライチェーンの逼迫を考えると、製品の入手や価格の手頃さはかつてなく重要になっています。ネスレは、世界中の市場で暮らしに欠かせない食品を提供するというコミットメントを引き続き掲げています。

また、ネスレは手頃な価格で微量栄養素を強化した食品を幅広く提供し続けており、2022年は、合計1,292億サービングの栄養強化された手頃な価格の栄養製品を提供しました。新たな製品として、パキスタンの鉄分強化飲料*Bunyad Iron+*、またネスレ東南アフリカ地域（ESAR）の*Nestlé Everyday*の展開があります。*Nestlé Everyday*はカルシウム、鉄分、ビタミン類、亜鉛を含む現地産の原材料を使った、手頃な価格の中脂肪粉乳です。

責任ある製品マーケティング

ネスレは厳格なガイドラインに沿って製品の広告を行っています。特に子ども向けのコミュニケーションや母乳代替品の販売促進です。2022年は、ネスレの「子ども向けマーケティングコミュニケーション方針」を改訂して、16歳未満の子ども向けに菓子、アイスクリーム、加糖清涼飲料水のマーケティングを行わないことをコミットする計画を発表しました。この方針は、業界で最も厳格な基準を満たすこととなります。また、2022年は、母乳代替品の責任あるマーケティングに関する方針を改訂し、世界的に生後0カ月から6カ月の乳児を対象とした乳児用調整粉乳の販売促進の単独での停止をコミットする計画も発表しました。

製品品質と食品安全性

消費者の皆さまのための品質と安全性は、ネスレの最優先事項です。これは食品飲料からシステムやサービスに至るまで、ポートフォリオ全体に当てはまります。品質保証と製品の安全性は『ネスレの経営に関する諸原則』の一つに該当し、また『ネスレ品質方針』はこの分野における私たちの行動の指針となっています。第三者による検証を受けたネスレのグローバルな品質マネジメントシステムは、法律や規制要件、ISO規格、社内基準に準拠し、食品の安全性と品質基準の遵守を保証する基盤となっています。

2022年は品質マネジメントシステムを入念に見直し、品質・食品安全カルチャーおよび能力の強化、頻度を増やす一方対象を絞った検査の実施、検証の強化、事故の予測と検知に関するデータの有効活用に一層の重点を置いています。

温室効果ガス（GHG）排出量実質ゼロへの道

2022年のネスレの温室効果ガス（GHG）排出量は、増収と絶対排出量の削減を同時達成、事業成長との同調は引き続きありませんでした。

欠乏症の対策として、*Bear Brand*は販売される各市場で不足しがちな栄養素に合わせて、製品の微量栄養素の強化に取り組んでいます。

ガバナンス	
取締役会による監督	気候関連のリスクと機会の監督機能は、組織の最上層部に組み込まれています。取締役会は気候関連課題の監督にあたり、関連目標に向けた進捗を監視します。取締役会のサステナビリティ委員会は、ネスレのサステナビリティ課題の見直しを行い、また監査委員会は非財務分野の報告内容と一部の確定指標の監査プロセスについて報告を受けます。
経営陣の役割	執行役員会はESG・サステナビリティ審議会を通じて、ネスレの『Net Zero Roadmap』をはじめとする、サステナビリティ戦略の執行に責任を負います。運用レベルでは、ESG戦略・展開ユニットが実施を主導します。

戦略	戦略／リスクマネジメント
気候関連のリスクと機会	気候変動は、ネスレにとって重要なリスクと位置づけられています。私たちはネスレのエンタープライズ リスクマネジメントの枠組みの中で、気候変動リスクの評価を年1回実施し、リスク緩和に向けた戦略と計画を見直します。関連する財務リスクについては、割引現金収支法を用いて評価します。 評価で特定するリスク: – 移行リスク:低・中・高排出量のシナリオでのリスク影響度に基づき、2030年までの移行リスクを評価しました。モデリング評価の結果によれば、ある程度の影響はあるものの、ネスレの『Net Zero Roadmap』により、この影響を最大で半分まで低減できます。 – 物理的リスク:気温の変化と異常気象が、主要原材料の収穫量の低下、変動や栽培に適した地域の変化を招き、品質や入手に影響を与える可能性があります。ネスレの支出の最大90%を占める原材料については、世界の平均気温上昇を1.5℃と仮定して2040年までのリスク影響度を評価しました。ネスレの主要原材料であるカカオ、コーヒー、乳製品、パーム油については、緩和対策をまとめています。 50万人以上の農業従事者と直接的な関わりを持つネスレは、資源集約度が低く、レジリエント（強靭）な食料生産のために、自然に根ざしたソリューションを実行できる立場にあります。「ネスカフェ プラン2030」はその重要な一例で、再生農業の推進、温室効果ガス排出量の削減、農業従事者の生活向上の支援を目指しています。
気候関連のリスクと機会の影響	
組織の戦略のレジリエンス	
リスクマネジメント	
気候関連リスクの特定と評価のプロセス	
気候関連リスク管理のプロセス	
組織の全体的リスクマネジメントへの統合	

指標と目標	
気候関連のリスクと機会の評価に用いる指標	2022年は、前年公表した指標に加え、気候レジリエンスを高めるためのネスレの『Net Zero Roadmap』の主要項目として、再生農法を通じて調達した主要原材料の割合を追加しました。
スコープ1、2、3の温室効果ガス（GHG）排出量	2022年に達成した炭素削減の70%は、原材料調達に関する対策によるものであり、30%はその他のバリューチェーン効率化と革新的な製品カテゴリーによるものでした。このことは気候変動を緩和し、機会を取り込むネスレの能力を示しています。
気候関連のリスク、機会、パフォーマンス管理に用いる目標	ネスレは、2025年、2030年に向けた温室効果ガス排出量削減目標を達成するための『Net Zero Roadmap』を毎年見直して、私たちの活動が排出量実質ゼロへの道をたどっており、バリューチェーン全体での気候リスクの緩和と適応を支援していることを検証しています。

ネスレの『Net Zero Roadmap』で定める範囲内のスコープ1、2、3の温室効果ガス排出量については、これまでにBAUシナリオと比較して、640万トン削減されました。この排出量は、ロードマップの導入以来、同4年間に収益が拡大したにもかかわらず、2018年の水準を初めて下回りました。排出量の削減は、ネスレの農業サプライチェーンや工場で実施されている広範囲なプロジェクトの成果です。

これらの排出量削減に加え、大気中の温室効果ガスを炭素貯蔵に転換する、自然に根ざしたソリューションを実施することにより、430万トンの温室効果ガス除去を確保しました。この排出量除去は、ネスレのサプライチェーン内と原材料の調達先となる地域で実施され、森林、湿地、泥炭地の復元や土地管理の向上を支援しています。

私たちは自らの進捗を誇りに思っていますが、2050年までの排出量実質ゼロ達成に向けて、ネスレの絶対排出量を削減するには、さらに取り組むべきことがあることも理解しています。私たちは自らの学びに応じて、今もアプローチを適応させています。ネスレの排出量削減・除去の活動の多くは、導入に時間はかかりますが、その後は短期間で成果を出し、順調な進展につながることを確信しています。再生農業への公正な移行を目指す農業従事者を支援するというコミットメントは、気候関連のアジェンダを支持するものです。

森林破壊ゼロのコミットメントの進捗

ネスレは2010年に、サプライチェーンにおける森林破壊ゼロというコミットメントをいち早く掲げた企業の一つです。2022年末までに肉、パーム油、パルプ・紙、大豆、砂糖の一次サプライチェーンの99.1%が森林破壊ゼロの評価を受けました。

小規模農家は現場レベルでそれぞれの事情に合わせた技術支援を必要としており、何千ものこのような小規模農家から調達する量を考慮すると、残る数パーセントの達成が最も難しいことを私たちは経験から理解しています。今後も森林破壊ゼロのコミットメントの達成に向けて注力していきます。

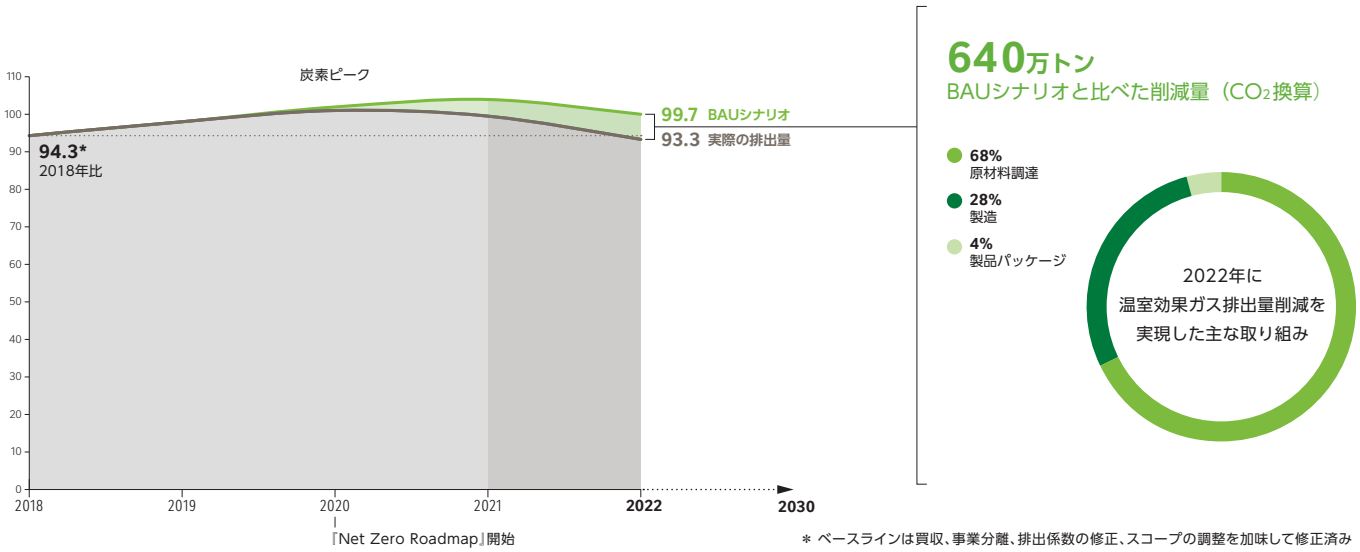
製品パッケージとサーキュラリティ（循環性）に関するネスレのビジョン

ネスレのビジョンは引き続き、プラスチックをはじめとするすべてのネスレ製品パッケージを一切埋め立てや投棄処分に終わらせないことです。炭素と同様にバージンプラスチックのピークを越えて、ビジネス成長を続けながら使用量を削減していきます。

ネスレには、このビジョンを支え、製品設計とインフラシステムの双方に取り組む戦略があります。不必要なパッケージの削減、リユースやリサイクルにさらに適したパッケージの設計、公正な回収システムのモデル化、そして適切な規制のサポートによって、埋め立て地や自然界でのごみゼロへの移行支援を目指しています。

スイスにあるミネラルウォーター*Henniez*のボトリング工場では、「ネスプレッソ」の抽出後のコーヒーかすと地元で収集した家畜の堆肥を一緒にバイオガスプラントで燃焼させ、再生可能エネルギーを生成しています。

温室効果ガス排出量を2025年までに20%、2030年までに50%削減し、
2050年までに排出量実質ゼロを目指す自社のロードマップにおける進捗
2018年比(単位:百万CO_2換算トン)



＊ ベースラインは買収、事業分離、排出係数の修正、スコープの調整を加味して修正済み

ネスレはエレン・マッカーサー財団グローバルコミットメントの署名企業として、製品パッケージの100%をリサイクルシステムで受け入れられる設計にすることを目指しています。2025年までに、製品パッケージの95%以上がリサイクル可能な設計となる予定です。バージンプラスチックの使用量については、2025年までに2018年水準から3分の1に削減する方向で順調に進んでいます。2022年末の時点で、バージンプラスチックの使用量を10.5%削減しました。

リユース、詰め替えシステムも重要です。ネスレはネスレ ウォーターズ事業の製品を提供して、Loop、Aldo、Carrefourなどのパートナーと共に、12カ国でのパッケージリユース試験プロジェクトを運営してきました。しかし、まだやるべきことがあると認識しており、小売パートナーと協力してリユース、詰め替えシステムを増やし、規模を拡大していきます。

ネスレは、回収、分別、リユース、リサイクルのシステムを可能とするための計画性の高い規制を提唱し、製造者責任の拡大やデポジット返却システムなどの規制を支持しています。また、プラスチック汚染をなくすための法的拘束力のある合意として、非常に意欲的な「国際プラスチック協定」に向けた国連交渉の支援にも積極的にコミットしています。

持続可能な生産の推進

環境再生型食料システムへの公正な移行を支援するためには、ネスレ独自の活動に加え、ネスレのサプライチェーン全体を通じた大規模な変革を促進する必要があります。

フランスではCarrefourと協力して、大型スーパー2店の量り売りコーナーで「ネスカフェ」、菓子、ペットフードの新しい詰め替え販売方式の試験運用を開始しました。

土壌水分センサーと植物ストレス度センサーは、ネスレのサプライチェーン内の農業従事者が灌漑の時期や頻度、使用する水の量を判断する上で役立っています。

私たちは14の主要原材料について、持続可能な方法で生産されたかどうかを評価することで、環境と社会への影響に取り組むことを目指しています。持続可能な生産とは、その原材料の産地が特定でき、生産方法がネスレの環境的、社会的要件に準拠していると評価されていることを意味します。14の主要原材料とは、穀類・穀物、カカオ、ココナッツ、コーヒー、乳製品、魚・海産物、ヘーゼルナッツ、肉・鶏肉・卵、パーム油、パルプ・紙、大豆、スパイス、砂糖、野菜です。それぞれの原材料について、具体的な環境的、社会的要件を定めています。2030年末までに、これらの原材料の100%が持続可能な方法で生産されることが目標です。

再生農業の推進

ネスレは、サプライチェーン内の農業従事者の再生農業慣行への移行を支援しています。再生農業とは、土壌の健全性と肥沃度の向上、生物多様性の保護と向上、水資源の保全を目指す農法です。農業はネスレの温室効果ガス排出量の大半を占めており、土壌とバイオマスが健全であれば吸収する炭素量が増えることから、このアプローチは排出量実質ゼロを達成する鍵となります。

ネスレは2022年に、農業を環境再生型食料システムの核としたビジョンを説明する『ネスレ農業フレームワーク』を発表しました。このフレームワークには一般的な原則や手法が含まれており、特定の農産物に対して拡張することが可能です。最も重要であることは、農業

新しい『ネスレ農業フレームワーク』は、ネスレの農業・調達専門家とサプライヤーが、ネスレの再生農業モデルを理解し、導入できるよう支援することが目的です。

酪農からの排出量の削減は、ネスレの長期的な気候目標において不可欠であることから、牛の飼料、堆肥管理、放牧範囲、再生可能エネルギーの使用などに関する変更を模索しています。

ネスレは、ネスレの事業とステークホルダーに特に関連のある11の重要な人権課題についての行動計画を策定しており、2022年3月に『データ保護とプライバシー』に関する行動計画を発表しました。

従事者がネスレのモデルの中心にあることです。再生農業慣行の導入によって小規模農家に初期リスクや初期コストが生じる場合、ネスレは公正な移行を支援するための技術、協働、資金上の援助を提供する場合があります。「ネスカフェ プラン2030」とカカオ生産農家向けの収入向上プログラムは、ネスレによる農業従事者支援の実例です。

また、農業に関してネスレが有する専門性の新たな拠点として、ネスレ農業科学研究所を設立しました。この研究所は植物科学、酪農畜産、農業システムに重点を置きながら、新しい農業科学を具体的な応用に結びつけ、有望な農業技術を特定することを目的としています。

人権の尊重

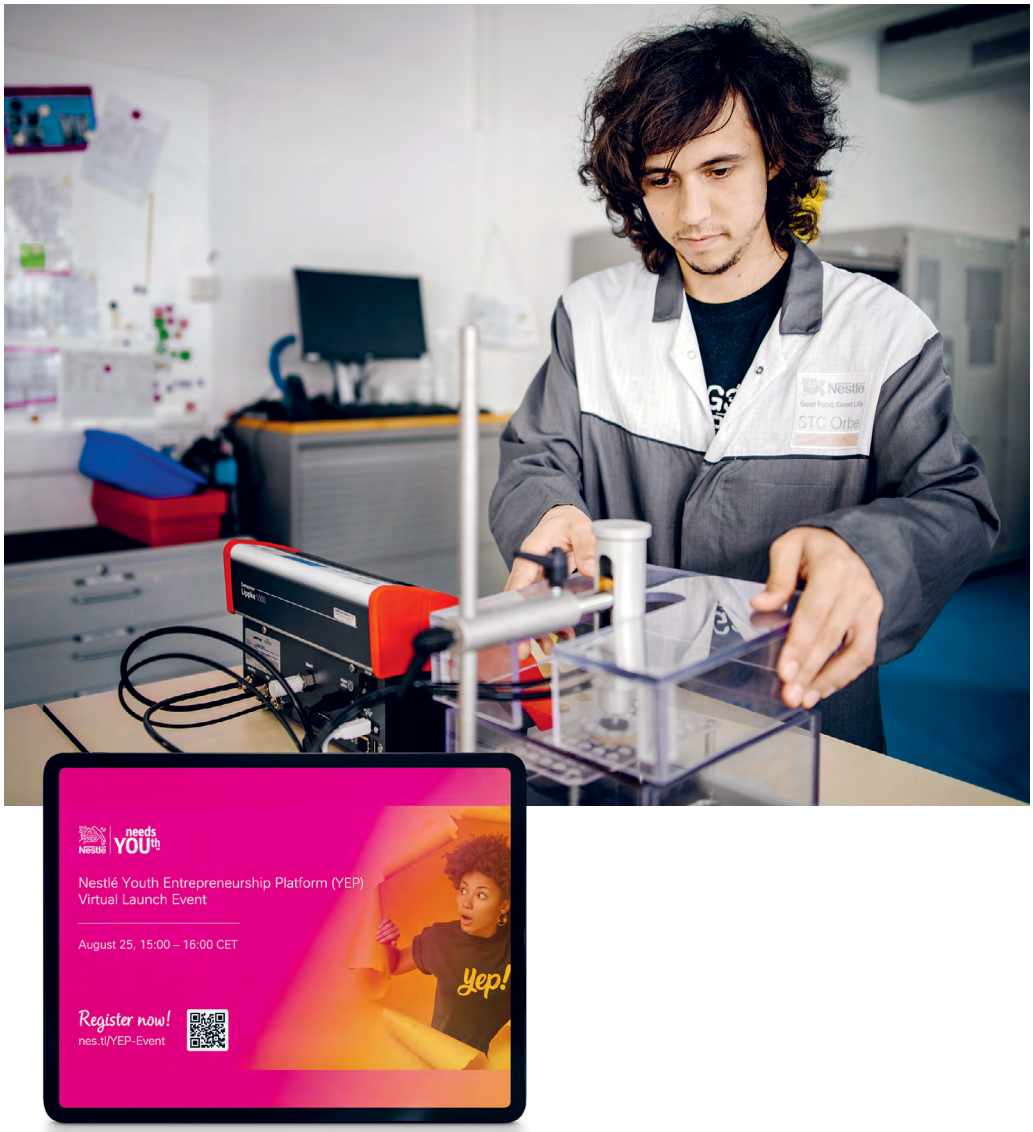
環境再生型食料システムは、人を中心に置いています。ネスレはバリューチェーンにおける人権を推進、尊重し、地球とそこに暮らす人々にとってのレジリエント（強靭）な未来に貢献する礎を築いていきます。2021年は、ネスレのアプローチと重要な人権課題を説明した『人権に関する枠組みとロードマップ』を新たに策定しました。

2022年は『データ保護とプライバシー』の行動計画を発表しました。2023年には、重要課題ごとに残る行動計画を発表し、予定している活動と、根本的な原因を解決するために必要な集団行動、各計画の有効性を評価するための主要指標に関して説明します。これらの枠組み

と行動計画により、何よりもまず人を守ります。またネスレが事業を展開する市場において、新たに制定される人権デューディリジェンス法に先んじる上でも役立ちます。

若年層のための機会創出

ネスレは*Nestlé needs YOUth*の取り組みの一環として、ネスレの若年層のイノベーションに関する既存の取り組みを一カ所に集めたNestlé Youth Entrepreneurship Platform（YEP）を8月に開設しました。このデジタルプラットフォームは、持続可能な製品パッケージや再生農業をはじめ、食品科学・技術から製品・サービスの開発までの分野で、新しい知識やスキルを学びたい、アイデアを試したい、あるいは事業拡大したいと考える若いイノベーターや起業家を支援します。ネスレが2022年に経済機会へのアクセスを支援した若者は合計170万人で、2017年からの累積では560万人に達しました。

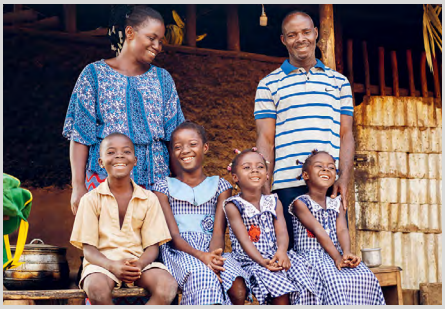


Nestlé Youth Entrepreneurship Platformは、ネスレの技術センターや研究開発アクセラレーターの国際ネットワークなど、若年層があらゆる知識や施設に1カ所でアクセスできるプラットフォームです。

農業従事者の収入向上支援

ネスレの収入向上プログラムは、持続可能な農業慣行を推進しながら、カカオ農家世帯の生活を向上させ、カカオ生産における児童労働リスクの根本的な原因を解決することを目指しています。

カカオ農場において児童が労働する主たる理由は貧困です。この革新的なアプローチは、10年以上にわたる「ネスレ カカオプラン」と児童労働監視改善システム（CLMR）における経験に基づいて、カカオ農家世帯が持続可能な変化を起こして、生活収入に近づけるように支援するため、インセンティブを供与することを目的とします。



2030年までに、このプログラムの対象をネスレのグローバルなカカオサプライチェーンに属するすべてのカカオ農家世帯に拡大する予定です。

ネスレはこの収入向上プログラムを通じて、作物生産性を高める剪定、気候変動耐性向上のためのシェードツリー（緑陰樹）の植樹、収入多様化のための追加作物の栽培や家畜の飼育、子どもの就学などの活動を行ったカカオ農家世帯に直接、奨励金を給付します。送金はネスレのサプライヤーによって、新学期が始まる時期など特にコストが高くなる時期に行われます。また農業従事者や世帯内の女性が、変化を実現するために必要な研修やリソースにアクセスできるよう支援します。

このような支払いを可能にし、持続する変化をもたらすため、ネスレはカカオの調達について、分離型のサプライヤーへと移行し、生産者世帯から工場に至るまでトレースできるようにします。

収入向上プログラムは、コートジボワールの1,000世帯を対象とした試験運用の成功を受け、さらに1万世帯を対象に加える方向で拡大しています。ネスレではその結果を評価し、必要に応じて修正を加えた上で、2030年までにネスレのグローバルなカカオ サプライチェーン全体に拡大する予定です。

社員の声

「農業従事者の方々が効果に納得されている様子を見ると、意欲が湧いてきます。9割以上の方が剪定を続けたいとおっしゃっていて、すでに残りの区画の剪定を済ませた方もいます。

ルーク・アフォリ・ンゲッサン・トゥーサン
コートジボワール
収入向上プロジェクトマネージャー

数字で見る

500スイスフラン
各農家世帯が最初の2年間、年間に受け取る金額

財務指標パフォーマンス

栄養・健康・ウェルネス戦略は、ネスレの価値創造の原動力です。

2022年、オーガニックグロースは堅調で、実質内部成長率（RIG）は底堅さを示し、プライシングは大幅なコスト高騰を反映した責任あるものとなりました。2022年の業績の概要を右の表にまとめています。

グループ全体の売上（スイスフラン） **944億**	オーガニックグロース* **8.3%**	実質内部成長率（RIG）* **0.1%**
基礎となる資産ベースでの営業利益*（スイスフラン） **161億**	基礎となる資産ベースでの営業利益率* **17.1%**	基礎となる資産ベースでの営業利益率* **-40ベーシスポイント** 為替変動の影響を除く
営業利益*（スイスフラン） **132億**	営業利益率* **14.0%**	営業利益率* **0ベーシスポイント** 為替変動の影響を除く
一株当たり利益（スイスフラン） **3.42**	一株当たり利益 **-43.5%**	基礎となる資産ベースの一株当たり利益* **+9.4%** 為替変動の影響を除く
営業キャッシュフロー（スイスフラン） **119億** 純金融負債の24.7%	フリーキャッシュフロー*（スイスフラン） **66億**	
提案された配当（スイスフラン） **2.95**	提案された増配 **+5.4%**	

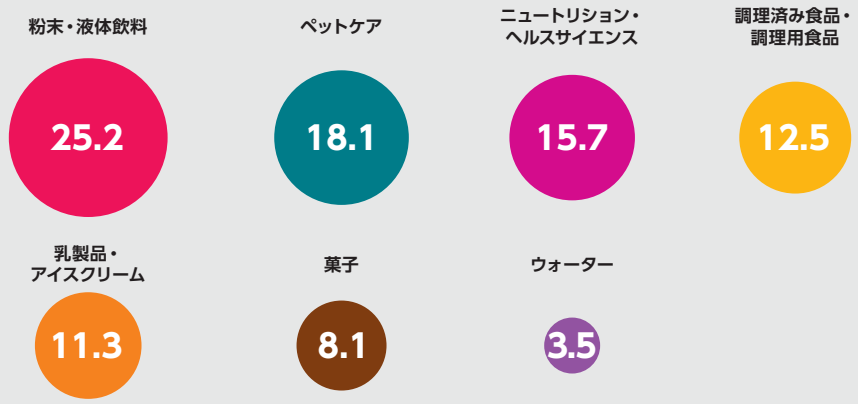
＊国際財務報告基準（IFRS）で定義されていない財務パフォーマンス指標。詳しくは「Annual Review」46ページの‘Financial review’（財務評価）をご覧ください。

ネスレの事業

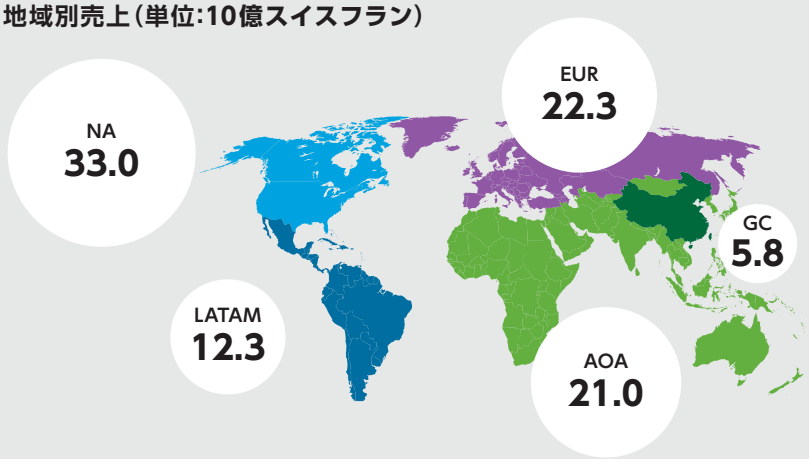
ネスレは、食の持つ力を活用し最も大きな変化をもたらすことができる分野にエネルギーとリソースを集中させています。

ネスレは栄養・健康・ウェルネスに関する専門知識を活用して、人々と家族そしてペットがより幸せで健康的な生活を送れるよう支援しています。環境の保護と回復に取り組み、株主とステークホルダーの皆さまに大きな価値を創造できるよう努めています。

製品別売上（単位:10億スイスフラン）



地域別売上（単位:10億スイスフラン）



従業員数

27万5,000人

販売国数

188カ国

グループ全体の給与・社会保障費（スイスフラン）

150億

2022年の法人税納付額（スイスフラン）

31億

主要な非財務指標パフォーマンス

ネスレは、社会と環境のコミットメントを通じて、共通価値を創造します。

進捗を評価するために、業績を支え、また株主およびステークホルダーの皆さまのために価値を創造する、一連の総合的な指標を使用しています。主要指標の一部をここに紹介します。全指標については、ネスレの報告書『Creating Shared Value and Sustainability Report』をご覧ください。

ネスレの気候に関するコミットメント

2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロ

スコープ1、2、3の温室効果ガス排出量を2018年と比較して2025年までに20%、2030年までに50%削減

ネスレのKPI*

640万トン

BAUシナリオと比較して削減した温室効果ガス排出量（CO_2換算）2022年、さらに430万トンの除去に着手、削減量は合計1,070万トン（CO_2換算）

継続中

ネスレの森林に関するコミットメント

肉、パーム油、パルプ・紙、大豆、砂糖の一次サプライチェーンにおいて、2022年末までに森林破壊ゼロ

ネスレのKPI*

99.1%

2022年、定められたサプライチェーンにおいて森林破壊ゼロと評価された割合

継続中

ネスレのプラスチックに関するコミットメント

2025年までにネスレ製品のパッケージのバージン（未使用）プラスチック使用を3分の1に削減

ネスレのKPI*

10.5%

2018年と比較した、2022年のネスレ製品パッケージのバージンプラスチック使用の削減割合

順調に進行中

ネスレのダイバーシティ、エクイティ＆インクルージョンに関するコミットメント

2022年までに上位200人以上の上級管理職に占める女性の割合を30%に引き上げ

ネスレのKPI*

30.2%

上位200人の上級管理職に占める女性の割合

達成

ネスレの若年層に関するコミットメント

2030年までに世界中の1,000万人の若年層が経済的機会にアクセスできるよう支援

ネスレのKPI*

560万人

経済的機会にアクセスできた世界中の若年層の数（累積）

順調に進行中

ネスレの栄養に関するコミットメント

おいしくバランスのとれた食生活を何十億もの人々の手に届くところに

ネスレのKPI*

1,292億サービング

2022年、微量栄養素（四大微量栄養素：鉄、ビタミンA、ヨウ素、亜鉛）を強化した手頃な価格の栄養

順調に進行中

*非財務分野のパフォーマンス指標は、www.nestle.com/esg-kpis に掲載されている『Reporting Scope and Methodology for ESG KPIs（ESG KPIの報告範囲と指標）』に定義されています。

EYは、このページの6つの主要パフォーマンス指標に関し限定的保証を行って います。EYの独 立 監査人としての結論を記載した保証声明書は、www.nestle.com/assurance-statement に掲載されています。